

全国初！待機児童問題解消のための新型ミニ保育所

「おうち保育園」



OPEN!

NPO 法人フローレンス(東京都新宿区 代表理事:駒崎弘樹、以下、フローレンス)は、2010年5月6日に待機児童問題解消のためのミニ保育所「おうち保育園 しのめ」を東京都江東区東雲にオープンすることを発表しました。

本施設の開設にあたってはUR都市機構の協力を得て、東京都でも特に待機児童問題に悩む江東区豊洲地区において、近接するUR賃貸住宅で開所(予定)の運びとなりました。

今日、待機児童問題は非常に深刻な社会問題になっています。

平成21年10月における全国待機児童数は4万6千58人で、前年同月より12%近く(5千874人)増となっています。「隠れ待機児童」85万人を考え合わせると、より一層の保育サービス充実が急務と言えます。

中でも東京都の待機児童数は全国トップで、21年10月現在11,436人と、2位の神奈川(6,544人)、3位の大阪府(4,682人)と比べ突出した数値です。

この課題に対し、私どもは、既存の保育施設(認可保育所、保育ママ)の良いところを併せ持ち、**財政的負担・人的負担の低い「モデルケース」として、全国で初めて**運営します。



[2009.9.7 厚生労働省発表/

「保育所の状況(平成21年4月1日)等について」よりデータ引用]

これまで国では、認可保育所を増やす方向性で動いてきましたが、認可保育所の行政コストは非常に高く、これによって待機児童問題を解消するのは現実的ではありません。さらに、待機児童解消に焦り、定員を超えて保育を行う「定員超過」の保育所も半数近くに上るという調査結果もあり、子どもたちへのしわ寄せが懸念されます。私どもの始める新規事業「おうち保育園」は施設を所有せず、賃貸マンションの1室などを利用することでコストを抑えることを可能としました。

おうち保育園の乳児一人/年当たり想定公費コスト



イギリスにおいては昔から伝統的に、チャイルドマインダーという資格者により、共同集会所を利用したミニ保育所が開かれています。おうち保育園はこのモデルを踏襲した、日本では初めてのミニ保育所となります。更に3人の子どもに対して1人の保育士が保育にあたるという大変手厚い人員配置で、保育の質も高く保つことができます。

今後はこのモデル事業を運営し、国に制度化を提起し、全国の待機児童問題解決を目指していきます。

(おうち保育園公式サイト URL: <http://www.ouchi-hoikuen.jp/>)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先:】
東京都新宿区下宮比町3-1 津多屋ビル3階
NPO 法人フローレンスおうち保育園事務局 駒崎
Tel:03-3235-6206 / mail: spr@florence.or.jp